

高等学校 情報科学習指導案

hogefuga 高等学校

指導教員 hoge fuga 先生 印
教育実習生 fuga hoge 印
学籍番号: 123456789

- 1 日時場所 2025 年 1 月 1 日 第 1 校時 場所;一般教室
- 2 学 級 第 1 学年 1 組 (男子 10 名 女子 10 名 計 20 名 学級担任 fuga fuga)
- 3 学級所見

吾輩は猫である。名前はまだ無い。どこで生れたかとうんを見当がつかぬ。何でも薄暗いじ

- 4 使用教科書 我が輩は猫である
- 5 単 元 名 プログラミングの基礎
- 6 単 元 観

めじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間

- 7 単元の指導目標
1. かもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪な種族であったそうだ。この書生というのは時々我々を捕
2. えて煮て食うという話である。しかしその当時は何という考もなかったから別段恐いとも思わなかった。ただ
3. 彼の掌に載せられてスーと持ち上げられた時何だかフワフワした感じがあったばかりである。掌の上で少し落ち
- 8 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価 規準	① ついて書生の顔を見たのがいわゆる人間というものの見始であろう。この時妙なものだと思った感じが今でも残	① ら時々ぷうぷうと煙を吹く。どうも咽せぼくて実に弱った。これが人間の飲む煙草というものである事はようやく	① っていると、どきりと音がして眼から火が出た。それまでは記憶しているがあとは何の事やらいくら考え出そう
	② っている。第一毛をもって装飾されべきはずの顔がつるつるしてまるで葉缶だ。その後猫にもだいぶ逢ったがこ	② くこの頃知った。この書生の掌の裏でしばらくはよい心持に坐っておったが、しばらくすると非常な速力で運転	② としても分らない。ふと気が付いて見ると書生はいない。たくさんおった兄弟が一疋も見えぬ。肝心の母親さえ
	③ んな片輪には一度も出会わした事がない。のみならず顔の真中があまりに突起している。そうしてその穴の中か	③ し始めた。書生が動くのか自分だけが動くのか分らないが無暗に眼が廻る。胸が悪くなる。到底助からないと思	③ 姿を隠してしまった。その上今までの所とは違って無暗に明るい。眼を明いていられぬくらいだ。はてな何でも

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
学習活動に即した具体的な内容	小テスト	ワークシート	グループディスカッション

9 単元の指導計画と評価計画(2 時間扱い)

時	学習活動・学習内容	学習活動に即した具体的な評価規準 [評価方法]
第 1 時	容子がおかしいと、のそのそ這い出して見ると非常に痛い。吾輩は藁の上から急に笹原の中へ棄てられたのであ	る。ようやくの思いで笹原を這い出すと向うに大きな池がある。吾輩は池の前に坐ってどうしたらよかろうと考

10 指導に当たっての工夫（授業形態の工夫、指導方法の工夫、教材の工夫）

えて見た。別にこれという分別も出ない。しばらくして泣いたら書生がまた迎に来てくれるかと考え付いた。
二

11 本時

(1) 小単元名(本時の題目)

名前はまだ無い

(2) 本時のねらい(指導目標)

指導目標
ヤー、ニヤーと試みにやって見たが誰も来ない。そのうち池の上をさらさらと風が渡って日が暮れかかる。腹が
評価方法
非常に減って来た。泣きたくても声が出ない。仕方がない、何でもよいから食物のある所まであるこうと決心を
評価基準
してそろりそろりと池を左りに廻り始めた。どうも非常に苦しい。そこを我慢して無理やりに這って行くとうよう

本時の展開

時間	学習内容と学習活動 (生徒の活動)および意図	指導上の留意点(教員の活動) および評価の観点	問題解決 ステップ
例)	○ SNS 上に載せた写真が原因でストーリーの被害につながったニュース記事を見せる(生徒の注意を喚起するため)	○ SNS に写真を載せることで、個人情報知られてしまうリスクに気づかせる	1. 発見
導入 (21分)	○ 前時の復習 やくの事で何となく人間臭い所へ出た。ここへ這入ったら、どうにかなると思って竹垣の崩れた穴から、とある	邸内にもぐり込んだ。縁は不思議なもので、もしこの竹垣が破れていなかったなら、吾輩はついに路傍に餓死し	1. 発見
展開	○ 問題発見 たかも知れんのである。一樹の蔭とはよく云ったものだ。この垣根の穴は今日に至るまで吾輩が隣家の三毛を訪	くなる、腹は減る、寒さは寒し、雨が降って来るという始末でもう一刻の猶予が出来なくなった。仕方がないか	
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">問する時の通路になっている。さて邸へは忍び込んだもののこれから先どうして善いか分らない。そのうちに暗</div> ○ まとめ らとにかく明るくて暖かそうな方へ方へとあるいて行く。今から考えるとその時はすでに家の内に這入っておっ	たのだ。ここで吾輩は彼の書生以外の人間を再び見るべき機会に遭遇したのである。第一に逢ったのがおさんで	